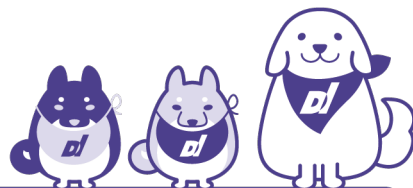




とべ かおり

戸辺 香織

担当 経営企画課 お客様係



寒さのなかにも、春の気配を感じる頃となりましたが、いかがお過ごしでしょうか。
さて、私はこの時期にぴったりの場所を旅してみたいと思っています。それは、台湾の九份（きゅうふん）です。

私は映画「千と千尋の神隠し」が大好きで、何度見ても飽きることがありません。

特に好きなシーンは、ハクが自分の握ったおにぎりを千尋に渡し、千尋がそれを食べながら涙を流すところです。何度見ても、その場面になると胸がいっぱいになります。

初めは臆病だった千尋が、試練を乗り越えながら芯の強い女の子に成長していくストーリーはもちろんですが、何と言っても色彩の美しさにとっても魅力を感じています。鮮やかで幻想的な色使いは、見ていだけで物語の世界に引き込まれます。

そのため、「千と千尋の神隠し」の舞台となったと言われている台湾の九份の夜景を、ぜひ自分の目で見てみたいと思いました。提灯の明かりが灯る街並みは、まるで物語の中に迷い込んだような気分になれるのではないかと想像しています。

以前、家族で鬼怒川の「あさやホテル」に宿泊したことがあります。そのホテルは、まるで湯屋を思い起こさせるような造りで、どこか懐かしさと神秘的な雰囲気が感じられ、とても素敵でした。まさに映画の世界と重なるような気がしました。

いつか九份を訪れ、映画の中で見た景色を自分の目で確かめ、その感動をさらに深めたいと思っています。